

～海鳴り遙かに～

上高だより

令和 元年8月30日 金曜日
第 5 号



長崎県立上五島高等学校
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTOU HIGH SCHOOL



ネクストワン (Next One)

校長 原 昌紀

8月20日から授業が始まりました。この夏は、数十年に一度と言われるような大雨に見舞われ、梅雨明け早々猛暑到来の夏でした。夏季休業中といえども補習や部活動の遠征・合宿、浜の浦での学習合宿、平和学習など、大変忙しい日々でしたが、一人一人が自分のやるべきことに打ち込み、成長できた夏であったと思います。まもなく体育祭が始まります。高校生活の思い出に残る一コマとなるよう全力で取り組んでくれること、そして学習、部活動において努力が実を結び、大きく飛躍する秋となることを願っています。

私は、全校集会など生徒の前で話をしますが、私が高校1年生の頃、当時の校長先生の話の中で、世界的な喜劇俳優であるチャールズ・チャップリンにまつわる話がありました。40年経った現在も、私の心の中に鮮明に残っている話なので紹介したいと思います。

チャップリンは、1889年イギリスのロンドンに生まれ、貧しい幼少時代を過ごしました。兄の勧めで入ったパントマイム劇団で、アメリカ巡業中にその才能を高く評価され、映画界に入り、後に「街の灯」「モダンタイムズ」「独裁者」「ライムライト」等、次々に大ヒット作を作り出したのです。アメリカ映画界で大成功を収め、地位と名誉を獲得しましたが、その反動による誤解により米国から国外追放となります。栄光と挫折、波乱の時代と厳しい人生の荒波の渦中に投げ込まれながらも、チャップリンは立ち止まらず、次々と名作を作り続けました。

そんなチャップリンに、ある時、新聞記者が次のような質問をしました。「あなたは数々の傑作作品を作り出したが、あなたの最高傑作は何ですか」と。すると彼はこう答えたのです。「Next One (次の作品だ)」。全く予想していなかった答えに、記者たちは呆気にとられ、「過去の作品から最高傑作を探そう」としていた自分たちの考えの浅はかさを大いに反省したそうです。アカデミー賞を受賞し、映画界の頂点まで登り詰めたチャップリンが現在の栄光に満足せず、更に次の高みや新しい目標を目指して生きていこうとする姿勢を貫いたのでした。

チャップリンの言葉「Next One (次の作品だ)」一高1の時に会って以来、私の支えになっている言葉の一つです。実は、私の高校時代にこの話をされた校長先生は、私の母校に勤務される前は、上五島高校の校長先生として勤務されていたことをこちらに赴任してから知りました。もしかすると校長先生は、当時上高の生徒にも「ネクストワン」の話がされていたのかもしれませんが。進取の気象を受け継ぐ上高生には、何事に対しても更なる高みを目指してほしいと願っています。

1学年より

ロップパチ8月の目標は「後悔しない、夏。」にしました。高校に入って初めての夏休みを意義深いものにするために、学習をはじめとする「すべきこと」に最初に取り組んだ後で、必ず「したい」ことにも挑戦してもらいたいという思いを含めました。夏休みが終わり、生徒の様子を見ると、中には依然として宿題の消化に追われている生徒もいるようですが、概ね良い夏休みを過ごしたようです。休みが明けても、夏はまだ続きます。

後悔のない日々を送ることができるよう、生徒のサポートを全力で続けていきます。

2学年より

短かった夏休みもあっという間に終わり、高校2年生の2学期が始まりました。2学期はいうまでもなく2年生として過ごす1年間の中での真ん中の学期ですが、もっと大きいスパンで見ると、高校生として過ごす3年間の、ちょうど真ん中の学期でもあります。67回生の高校生活も、この2学期が折り返し地点です。高校入学時に思い描いていた卒業後の理想の自分に、どれだけ近づけていますか？

2年生の2学期は、体育祭を皮切りに、橄欖祭、修学旅行、地域探究発表会と、とにかく行事が盛りだくさんです。毎月何らかの行事の準備に追われて慌たしい日々になるとは思いますが、そういった慌たしさの中でも、高校生活のベースである学習と部活動をおろそかにしてはいけません。多忙な中でも自分がやるべきこと一つ一つにしっかりと取り組むことができれば、人間として大きく成長できるはずです。苦しいときこそ成長のチャンス。この2学期が67回生にとって、大きく成長する学期になることを信じています。

3学年より

長いようで短い夏休みが終わりました。この夏、補習や学習合宿を通してお子様自身が受験生であることを再確認できたことと思います。学校に登校しなかった日々をお子様はどう過ごされていたでしょうか。自分の『夢』に向かって一生懸命でしたでしょうか。最後は『夢』に対する思いの強い人物が『合格』、『内定』という結果を手に入れることができる可能性が高いと感じます。残された試験日までの日々を無駄にすることなく有効に使うことができるよう保護者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。また、2学期も始まり、66回生にとっては最後の体育祭も目前となりました。少ない日数の中で応援合戦の準備やスクリーンの作成など頑張っております。是非当日は学校に足を運んでいただき、お子様の最後の体育祭の勇姿をご覧いただければと思います。



表彰伝達式 7月19日(金)に放送部と生徒会の表彰を行いました。

○放送部「第66回NHK杯全国高校放送コンテスト長崎県大会」

創作テレビドラマ部門 **優秀賞**

ラジオドキュメント部門 **優秀賞**

○生徒会「蛤浜清掃活動による感謝状」を探訪～四季を味わう上五島実行委員会様よりいただきました。



野球部・吹奏楽部・放送部報告会 8月9日(金)に野球部と吹奏楽部と放送部の報告会を行いました。

はじめに、吹奏楽部の銀賞の表彰伝達が行われました。その後、各部からの報告がありました。野球部から夏の選手権大会の報告では、主将の石司君から「部活動での経験を今後の人生につなぎたい」とありました。

吹奏楽部から吹奏楽コンクールの報告では、部長の古田柚子葉さんから「先輩たちが、がんばってきたことをつなぐことができた」とありました。

放送部からNHK杯全国高校放送コンテストの報告では、部長の川崎夏美さんから「全国でも上位入賞者が多く出ている長崎県選手団として参加してきたことで自信を持つことができた」とありました。それぞれの部活動で、新体制となり。先輩の思いを引き継いで頑張りたいと願っています。



DV防止教室 7月22日(月)に1学年生徒を対象としたDV防止教室がおこなわれました。

90分を超える講話でしたが、講師のNPO法人DV防止ながさき 悦晴美先生のお話しに熱心に耳を傾ける生徒達の姿が見られました。今回の講話を受けて、「対等な関係をつくる」ことの大切さを学んでくれた生徒達が、DVの被害者にも加害者にもならないことを願っています。



町令併15周年記念特別表彰 8月1日(木)に新上五島の町の合併15周年記念式典において、インターハイ優勝などの実績を多く挙げている陸上部と島内外で各種イベント等において書道パフォーマンスを披露してきた書華道部の活躍が評価され、表彰を受けました。

今後、新上五島町の活力となるようにがんばりたいと思います。



上五島高校島内企業説明会 7月23日(火)に本校にて島内企業17社をお招きした説明会を開催しました。

就職希望者だけでなく、島外への進学を考えている生徒にとっても島内企業の魅力を知ることができる大変貴重な機会となりました。



9月の行事予定

- 4日(水) 振替休日(9/7分)
- 7日(土) 体育祭準備
- 8日(日) 体育祭
- 9日(月) 振替休日(9/8分)
- 10日(火) ③就職試験激励会
こころのアンケート
- 14日(土) ③対外模試(~15日)
- 16日(月) 敬老の日
- 19日(木) ①農林水産業説明会
- 21日(木) ③土曜学習会
- 23日(月) 秋分の日
- 24日(火) 考查時間割発表

○今年度は諸事情により次の行事は実施しないことにしましたのでお知らせします。

- ・あご焼き講習会
- ・乳幼児ふれあい体験学習
- ・お魚料理教室

お知らせ

11月23日(土)五島地区高等学校・特別支援学校PTA研修会が五島高校で行われます。当日は本校のPTA会長が発表いたします。後日文書にてご案内いたしますので、ふるってご参加ください。

←上五島高校の最新情報はこちらから。または下のホームページアドレスまで。
ホームページを随時更新中です!!
<http://www2.news.ed.jp/section/kamigoto-h/index.html>